

めざす子ども像

ふるさとを愛し、誇りとする子ども・思いを伝え合い人とのつながりを大事にする子ども・よく考え、よく学び進んで実行する子ども 人や自然を愛し、心をかよわせ合う子ども

取組目標

地域・家庭・学校が一つとなって、田原の教育に取り組み、地域活性化の中心となる人材を育てる。

今年度の取組紹介

今年度は地域と学校が協力し、第3回小中一貫教育小規模校全国サミット in 田原を開催することができました。多くの参加者をお迎えするに当たり、学校園の花植えや校内整美作業等の環境支援のほかにも、事前準備、当日の運営まで学校をサポートしました。

来校者の休憩時などに使ってもらうためのダンボール家具づくりで事前の打合せから組上げまでを地域が関わり、参加者からは好評を得ました。この様子は新聞にも掲載され、大きな注目を集めることができました。

サミット直前の資料梱包や当日の受付や交通整理等でも地域が協力し、大会運営を支えました。参加者アンケートでは地域と学校が一体となった田原の取組に対し、大きな評価をいただくことができました。

この他にも学校園の花植えや校内整美作業、韓国慶州女子中学校のホームビジットの受入れ等、学校の環境や学習に関わることへ随時支援をし、地域と学校が一体となった教育活動に取り組んでいます。



今年度のまとめ

サミットという大きな大会をとおして、ダンボール家具製作のような新しい試みやスタッフとして運営ボランティアの募集や参加を呼びかけることで、協議会の取組をこれまで以上に周知することができたのではないかと思います。また、学校はキャリア教育を柱に、地域学習に力を入れて取り組みました。現地に学習に行ったり、地域の人をゲストティーチャーに招いたりすることで、地域、学校共に教育への関心が高まり、よりつながりが強くなったと感じています。

これらの取組は、学校への支援はしたいが、どう関わったらいいかわからないという方にも、参加するきっかけをつくることにつながっていると考えています。

来年度に向けて

今年度も多くの地域人材の協力で取組を進めることができました。一方で、コーディネーターやボランティアスタッフの高齢化も課題です。特に事業への参画・運営に保護者世代が積極的に関わってもらえるように呼び掛けたり、参加方法等を工夫・改善したりすることが課題です。

めざす子ども像

ふるさとを愛し、誇りとする子ども・思いを伝え合い人とのつながりを大事にする子ども・よく考え、よく学び進んで実行する子ども・人や自然を愛し、心をかよわせ合う子ども

取組目標

地域・家庭・学校が一つとなって、田原の教育に取り組み、地域活性化の中心となる人材を育てる。

今年度の取組紹介

【キャリア教育・学び合いを核とした取組】

田原小中学校では、施設一体型小中一貫教育校としての特性を生かし、前中後期の各ブロックの発達段階に応じた特色ある活動に取り組んできました。児童生徒は上級生をモデルとし、自ずとブロックの中でのリーダー育成がなされています。

今年度は、それら成果の発表の機会として「第3回 小中一貫教育小規模校全国サミット in 田原」を開催することができました。サミットでは、小中一貫教育校としてのこれまでの取組についての報告に加えて、これまで取り組んでいる「キャリア教育」および「学び合い」を中心とした学習についての事例報告を行いました。

地域の方々からもサミット事前準備や運営支援、起業家教育の一環として取り組んでいる田原活性化のための商品開発への助言など、幅広い協力をいただいたことは大変ありがたく、日々の教育の大きな助けとなっています。



今年度のまとめ

今年度も「9年間の連続性・継続性を生かした一貫教育」に取り組むうえで、地域の方々から多くのご支援をいただきました。サミットに向けた取組に加えて、職場体験ポスターセッション等の教育活動や、校内外の環境整備活動への参加など、田原特有の地域と学校の強いつながりを生かした活動をすすめることができました。

また、学校・地域が一体となった児童生徒の見守り活動の継続等、惜しみない支援をいただくことができました。

来年度に向けて

これまでの地域・学校が一体となった取組によって、愛郷心や地域に貢献しようという気持ちが育まれています。今後も小中一貫教育の系統性・継続性を活かし、次世代の田原の人材育成に取り組んでいきたいと思えます。

また、今年度は、地域・学校・子ども・保護者がより良い子育てや教育活動を安心して行うことができるよう「どんごが丘コミュニティ広場」が開設されました。今後とも、参加する団体や活動する人がやりがいをもって教育に当たることができる場として、活用をさらにすすめていきたいと考えています。

めざす子ども像

ふるさとを愛し、誇りとする子ども・思いを伝え合い人とのつながりを大事にする子ども・よく考え、よく学び進んで実行する子ども
人や自然を愛し、心をかよわせ合う子ども

取組目標

地域・家庭・学校が一つとなって、田原の教育に取り組み、地域活性化の中心となる人材を育てる。

今年度の取組紹介

田原には豊かな自然、素晴らしい伝統や文化、そして人が豊富な地域です。これらはすべて地域の宝であり、それを子どもたちにも伝えていくために、体験活動を中心に地域のひと、もの、ことに出会い、学ぶ機会を多く設定しています。学校園の花苗植えや米作り、リンゴ狩りなどの自然体験活動では、育て、収穫するだけでなく、時には食すまでを地域が指導に関わりました。育て、収穫し、食すまでを体験することで、命の尊さや食への感謝の気持ちを実感することができました。



また、田原小中学校では、キャリア教育を柱に、地域に学び、地域を愛し、郷土に暮らすことに誇りと喜びを感じることで育てる子どもを育てる取組をしています。田原地区に伝わる伝統芸能の祭文の伝承活動の取組はその代表例です。運動会の一般種目に取り入れて、約20年になります。現在は小学4年生が音頭を取り、全員で踊る様子はなかなか壮観で、地域の一体感を象徴しています。音頭取りの指導には、地域の伝統芸能保存会があたり、貴重な伝統芸能の伝承につながっています。



今年度は新しい試みとして放課後子ども教室と公民館が共催するイベントも実現しました。組織は違いますが、地域の子どものためという共通の目標や願いがあるからこそ実現できたと思っています。

今年度のまとめ

田原は以前より、地域と学校の結びつきが強く、学習活動や環境整美に地域の方のお力添えをいただき、様々な取り組みを試みてきました。

放課後子ども教室と公民館の共催イベントのように、地域、家庭、学校はもちろん、地域各種団体も一つになって田原の教育に取り組むなど、今年度は、より地域の横のつながりを強めた取組を進めることができたと思います。これも地域の教育コミュニティ組織であるどんごが丘コミュニティ広場を立ち上げたことが大きくかかわっています。

コミュニティスクールを核としたこの組織は、幼稚園の跡地を利用し、児童生徒の実態や各組織の運営に関する内容など、取組の成果や課題を共有し、地域の子どもは地域で育てることを目的に日々取組を進めてきました。

中でも、今年度開催した小中一貫教育小規模校全国サミット in 田原では、地域、保護者、学校が一体となって、これまでの取組について全国に発信することができました。

来年度に向けて

今年度はボランティアやゲストティーチャーとして学校に出向くだけでなく、キャリア教育を柱に学習の場として地域各所に子どもたちが出向き、現地で学ぶ双方向の学習がさらに進みました。一方で、放課後子ども教室のコーディネーターや運営スタッフが高齢化していることや新しい人材の確保が難しく、今後の運営の継続が難しくなっています。放課後子ども教室だけでなく、今後の人材育成や確保の課題を解決しつつ、取組を充実させていくために、保護者を中心に参加啓発や教員志望の学生への呼びかけなど、人材の育成と確保にも努めたいと考えています。